



成熟した ダウンタウンを作ろう

[秋田市観光クチコミ大使]

株式会社 そごう・西武 商品部マーチャンダイザー 玉井卓三氏

東京暮らしが長い私ですが、生まれは愛媛県の宇和島市です。温暖で、風光明媚な現存天守が佇む城下町です。平成25年1月に雪深い秋田へ赴任し、百貨店「西武秋田店」の店長を平成28年2月まで務めておりました。西武秋田店は秋田の皆様にも県内唯一の駅前百貨店として久しくご愛顧賜りまして、東北でも有数の売上規模の店舗に育てていただきました。現在はこれまでの経験を生かし、東京の本部で商品計画・開発に携わっております。

秋田の魅力

3年間の秋田在住でした。メリハリのある四季、豊かな自然、多彩な食材と料理、豊かさと厳しさが同居する変化に富んだ気候と風土に魅了されました。千秋公園・久保田城・お堀、川反・外町辺りや、数十ものお寺が集まる寺町の情景はまさに城下町の典型で、深い歴史の佇まいを感じます。また、多彩な祭りに触れ、質実剛健な先人の営みに深い共感を覚えたものです。

歴史や文化に育まれた秋田の暮らし

さて、百貨店の売場から見えてくる秋田のライフスタイルをご紹介します。まず、色白の秋田美人には女性的な「フェミニン」なファッションが似合います。パンツよりスカート、「きちんと感」のあるスタイル。地味な色・柄より、意外にも「鮮やかなカラー（赤・黄・紫）」・「斬新な柄（花柄など）」が人気です。そして「帽子」の人気は全国一と言っても過言ではありません。これらの特徴は東北6県では秋田だけに見られるもので、全国的にも特筆すべき秋田の色・柄文化と思われます。また、元気でおしゃれなシニア世代は60歳以上でも派手好みで、40歳代向けのブランドを好む傾向があります。

特筆すべきは「食」に対する興味と関心の高さです。豊かな米と酒、ネバネバ食材、特に餡子・甘い和菓子の人気は断トツです。中元・歳暮での県産

贈答品シェアは35%に達しています。歴史や文化を大事に育んできた秋田ならではのライフスタイルだと思います。

成熟したダウンタウンを作ろう

このような豊かな県民性を背景に、限られた人口の中、大勢が集う成熟したダウンタウン(中心市街地)を作る事を提案します。欧米の都市には必ずダウンタウンがあり、旧市街として人々の集いがあります。駅前周辺にも、観光客と地元市民、高齢者・若者・家族が皆で楽しめる街づくりが急がれます。こうした中、千秋公園と久保田城、県立美術館と現代アートの街並み、文化会館の建替え、JR秋田支社一帯の再開発など、計画が現実化してきました。

さらにもう一つ提言するとすれば、成功している地方都市は欧米も含め、あまねく路面電車で街の一体性を作りあげています。人の移動も風景の醸成も。路面電車の復活は検討に値すると思います。

秋田人のアイデンティティーを集結しよう

秋田の活性化は「本物のダウンタウンができるか！」がひとつの試金石です。そのためには、皆でその意志を結集していく事です。歴史や文化、暮らし風土、この特筆すべき良さを皆で共有し、焦点を絞り込んでいかねばなりません。

秋田にはたっぷり「日本」があります。ダウンタウンに秋田人のアイデンティティーを集結しましょう。特徴ある秋田はその可能性が十分に揃っています。

■ 略歴

- 昭和31年 愛媛県宇和島市生まれ
- 昭和55年 慶応義塾大学 卒業
- 同年 株式会社西武百貨店入社
- 平成20年 株式会社そごう そごう横浜店婦人雑貨部長
- 平成22年 株式会社そごう・西武 西武渋谷店販売部長
- 平成25年 同社 西武秋田店 店長
- 平成28年 現職

※秋田ふるさと検定3級取得・ナマハゲ伝導士